

2018年7月13日
日興アセットマネジメント株式会社



エンジェルジャパン・アセットマネジメント*
運用チーム

日興グローイング・ベンチャーファンド

エンジェルジャパン宇佐美博高から 皆様へのメッセージ

右から 宇佐美代表取締役、内藤チーフインベストメントマネジャー、
金沢シニアインベストメントマネジャー、柳葉シニアインベストメントマネジャー、永嶋インベストメントマネジャー

*当ファンドの投資助言を行なう投資顧問会社です。

「エンジェルジャパン・アセットマネジメント」の投資哲学

- 経営者に対する『個別直接面談調査』を徹底することで、革新成長企業を厳選します。
- 新興成長企業は判断が難しいため、アナリスト経験豊かなチーム全員と一緒に面談し、投資判断も完全な合議制にて運営しています。
- IPO(株式の新規公開)のロードショー**でほとんど全ての企業と面談し、革新的な企業とはその後も定期的に面談します。
- 組入企業を順次入れ替え、常に「今が旬」の「成長割安50社パッケージ」を維持することをめざします。

**IPO前に行なわれる機関投資家向けの会社説明会

※上記「50社パッケージ」とは、50社程度という意味で使用しており、投資銘柄数を50社に限定するものではありません。

～我々が直面する様々な課題の克服に貢献する企業に注目を～

最近「持続可能な開発目標 (SDGs : Sustainable Development Goals)」という言葉が耳にする機会が増えています。これは国連で2015年9月に採択された、15年後の2030年までに世界が達成すべき目標です。17の目標と169のターゲットで構成されており、先進国や途上国などの区別なく、解決すべき普遍的な問題を挙げています。17の目標は、①貧困撲滅や②食料確保、③健康的な生活、④平等で質の高い教育機会の提供、⑤男女平等などジェンダー間の平等、⑥水と衛生の確保、⑦持続可能なエネルギー、⑧持続可能な経済成長と働きがいのある仕事の推進、⑨産業やイノベーションの推進、⑩国内および国家間の格差是正、⑪持続可能で快適な居住環境、⑫持続可能な消費と生産、⑬気候変動への対策、⑭海洋と海洋資源の持続可能な開発・保全、⑮陸上生態系の保護と持続可能な利用の推進、⑯すべての人への司法へのアクセスの提供、⑰目標達成のためのグローバルな協力体制の構築、と非常に広範囲にわたるものとなっています。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

すなわち、世界は様々な問題を抱えており、それらを解決する存在の価値が高いことを示しています。

ここ数年、話題になっていた「ESG（環境・社会・ガバナンス）」は、環境への配慮や地球問題に対する取り組み、社会的な課題の解決に向けた取り組み、顧客・株主・従業員などへの社会的責任のあり方、を説いており、企業行動に関する指針に近いと言えます。SDGsが注目されることで、ESGの取り組みを進めることを前提にしつつ、さらに一歩進んで社会に貢献する企業が評価される時代がくるのかもしれない。

こうした分野では、我が国の企業が活躍する余地も大きいと考えられます。例えば、昨年上場したeラーニング（インターネットなど情報技術を活用した教育）の会社では、子供たちが個々の学力に応じて、自分がつまづいたところまで遡って学習できる対話型の教材を提供しています。何らかの理由で学校に行けない、あるいは落ちこぼれてしまったような子供でも教育を受ける機会を得られるため、教育水準の底上げにつながります。既に、国内の学習塾や学校への導入が進んでいることに加え、海外での提供も開始しています。この仕組みが広がっていけば、「平等で質の高い教育機会の提供」への貢献も大きいと考えられます。この他にも、我が国の優れた省エネ技術を用いた製品を海外展開することも、地球温暖化の予防・対策になります。また、我が国が喫緊の課題として進めている女性や高齢者が活躍しやすい社会づくりも、グローバルな課題と捉えられており、そこに貢献できる企業は将来的に大きく飛躍できる可能性もあります。

当ファンドでは、革新的成長企業に投資していますが、革新的ということの意味を問われることが多くあります。その際には、「様々なケースがありますが、一言でいえば、その企業が大きくなることで世の中が良くなるような企業」ということを伝えています。そうであってこそ、中長期的な成長が可能であるという考え方で、SDGsの考え方にも通ずるものと言えます。引き続き個別直接面談調査を通じ、一社でも多くの革新的成長企業を見出していきたいと考えています。

エンジェルジャパン・アセットマネジメント 宇佐美 博高

1976年一橋大学卒。静岡銀行、すみや電器を経て野村総合研究所入社。ディービー・モルガン・グレンフェル・アセットマネジメント（現ドイチェ・アセット・マネジメント）等株式運用責任者を歴任後、2002年エンジェルジャパン・アセットマネジメントを設立



ファンドの特色

1 高成長新興企業の株式に投資を行ない、信託財産の成長をめざします。

○主として、公開後5年以内のわが国の金融商品取引所上場株式の中から、革新的な高成長新興企業(=グローイング・ベンチャー)に投資を行ないます。

2 エンジェルジャパン・アセットマネジメントによる徹底したボトムアップ・リサーチにより有望企業を厳選します。

3 エンジェルジャパン・アセットマネジメントから投資助言を受けます。

お申込みに際しての留意事項

■ リスク情報

投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【未上場株式などの組入リスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■ その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

お 申 込 め も

商品分類	追加型投信／国内／株式
ご購入単位	購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
ご購入価額	購入申込受付日の基準価額
信託期間	2023年7月18日まで(2003年7月18日設定)
決算日	毎年7月17日(休業日の場合は翌営業日)
ご換金代金のお支払い	原則として、換金請求受付日から起算して5営業日目からお支払いします。

手 数 料 等 の 概 要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	購入時手数料率は、 <u>3.24%(税抜3%)</u> を上限として販売会社が定める率とします。 ※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	換金時の基準価額に <u>0.5%</u> の率を乗じて得た額

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

信託報酬	純資産総額に対して年率 <u>2.052%(税抜1.9%)</u> を乗じて得た額
その他費用	組入有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息 など ※その他費用については、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

※ 当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 日本証券業協会
投資顧問会社	エンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社
受託会社	野村信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ]http://www.nikkoam.com/ [コールセンター]0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○		
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○		
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○		○
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○		○
日産証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第131号	○		○
碧海信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第66号	○		
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第181号	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○

(50音順、当資料作成日現在)